

科学のあり方は、技術や経済発展だけでなく、医療・福祉など人類社会のすべてに関わっている。どのように科学を発展させ共有し、次代に継承する科学政策を作り上げるのが政治にとって大きな課題であり、科学研究に取り組み、後継者を育成する大学と大学教員には、科学全体のあり方を俯瞰する視野が求められている。

しかし、PISA テストの結果や OECD による国際比較調査からも指摘されるように、市民レベルの科学に関する関心は低く、日本における科学リテラシーの評価は未だ低い。大学においても、専門分野の研究と教育は行われているが、科学と社会関係をどのように考え、市民の教養として科学を位置付けるかなど、科学リテラシーに関する教育は、体系的には行われていない。

科学リテラシーを確立していくためには科学と社会の双方向の相互作用を種々の観点から理解するだけでなく、異分野の交流と理解を進めていくことが重要である。本シンポジウムでは、大学における科学・社会リテラシー教育のあり方を模索し、その理念および先駆的な取組を参考としながら、今後の東北大学の教育プログラム開発に役立てることを目的とする。

第 12 回 東北大学 高等教育講演会

SCIENCE **科学と社会** SOCIETY
SCIENCE & SOCIETY

～科学・社会リテラシー教育のあり方と現代的意義～

平成 22 年 11 月 19 日 (金) 13:00～17:00 (受付開始 12:30)

東北大学川内萩ホール 2F 会議室

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/>

LITERACY

プログラム

■ 開会挨拶：東北大学高等教育開発推進センター長 木島 明博

講演 1 **今なぜ<科学と社会>なのか**

東洋英和女学院大学 学長 村上 陽一郎

講演 2 **総研大における社会リテラシー教育**

総合研究大学院大学 教授 平田 光司

講演 3 **異分野融合研究教育の現状と高度化への課題**

東北大学国際高等研究教育機構 機構長 井小萩 利明

■ 討 論：司会 / 東北大学高等教育開発推進センター 教授 関根 勉

■ 閉会挨拶：東北大学高等教育開発推進センター 教授 関内 隆

■ 情報交換会：17:15 ～ 川内萩ホール 1 階ファカルティークラブ (参加費 3,000 円)

参加無料
当日参加可

◇◆ 講演会・情報交換会の参加について：平成 22 年 11 月 12 日 (金) までにお申し込みください ◆◇

Web
申込み

URL: <http://www.he.tohoku.ac.jp/>

※行事カレンダーからお進み下さい。

問合せ先

高等教育開発推進センター 関根 勉
Tel: 022-795-7667

E-mail: tsekine@he.tohoku.ac.jp

e-mail
での
申し込み

※Web 申し込みが不可の場合、ご利用ください。

氏名・所属・連絡先 (e-mail)・情報交換会への参加の有無を明記の上、高等教育開発推進センター事務室までお申し込みください。

E-mail: pffp_office@he.tohoku.ac.jp Tel: 022-795-7551

このシンポジウムは、教育関係共同利用拠点「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」プログラムのひとつであり、参加者には受講証を発行するとともに、利用者としての登録をお願いしています。

PFFP

Preparing Future Faculty Program

